

CASBEE 新築 [簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名物流センター計画	階数	地上2F
建設地	神奈川県海老名市下今泉2丁目9-9	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	30 人/日
気候区分	地域区分	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年11月 予定	評価の実施日	2011年1月6日
敷地面積	35,102 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)
建築面積	18,674 m ²	確認日	2011年1月7日
延床面積	36,363 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: A: B+: B-: C:

環境品質 Q

環境負荷 L

2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

建設 修繕・更新・解体 運用

参照値 100%

評価対象 77%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性 耐用性・信頼性 対応性・更新性

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境 まちなみ・景観 地域性・アメニティ

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物の熱負荷 自然エネルギー 設備システム効率化 効率的運用

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源保護 非再生材料の使用削減 汚染物質回避

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<p>大規模建築物であり、中でも倉庫用途の占める割合は98パーセントもあります。空調設備は設置しておらず、外壁・屋根に断熱材を設け、換気設備にて空気の循環をさせて良質な作業環境を保ち、製品の品質を維持させてあります。極力パッシブ設計を心掛け、環境負荷の低減に努めた建築物を計画致しました。</p>		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 科学汚染物質による空気質汚染防止を図った。 自然採光を確保し空間の閉塞感を低減して光・視環境を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物を長期使用するための空間のゆとりを確保。 電気・通信記録の更新性に配慮。 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積の2割以上に占める地上緑化を計画し、圧迫感を抑え、景観・まちなみに配慮したと同時に敷地内の温熱環境の改善を目指した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 高効率な設備機器を導入し、エネルギーの低減を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル材の使用を積極的に図った。 低環境負荷材料の利用を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染物質の排出抑制 光害の抑制 建物周辺の交通渋滞抑制

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質)、**L: Load** (建築物の環境負荷)、**LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性)、**BEE: Building Environmental Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい